

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06202
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	「共生」から世界を読み解く：ものがたり・歴史・言語を中心に					
	学問分野	番号	41	名称	教養 (総合科学など)	
3. 担当教員	(1) 栗原 武士 (地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース 准教授) (2) 小川 俊輔 (地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース 教授) (3) 中石 ゆうこ (大学教育実践センター 准教授)					
4. 開講期間 (曜日)	令和 7 年 7 月 26 日 (土) ~ 令和 7 年 7 月 26 日 (土)					
開講時間	9 時 00 分 ~ 12 時 20 分 (60 分 × 3 回)					
個別開講日	1 回目 7/26	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	150 人					
6. 科目内容・授業計画	<p>令和 8 年度から新設予定の県立広島大学・地域創生学部・国際共生コース※では、さまざまな文化的背景をもった人々がどのように共生していくか、多様な地域の 歴史・文化をどのように継承し、活かしていくかを学ぶことができます。本講義では、本コースに所属する 3 名の講師が、それぞれの研究分野の知見をもとに、「共生」というテーマで高校生のみなさんにお話します。</p> <p>※ 設置構想中の予定であり、変更となる可能性があります。</p> <p>(1) 栗原武士「現代アメリカの『文化戦争』と文学」(9:00-10:00) 最近のアメリカ社会についてのニュースを見たまみなさんの中には、『文化戦争』というキーワードを耳にした人もいないかも知れません。現代アメリカ社会の分断はいつ、どのように始まったのか？文学はその分断をどのように描いてきたのか？本講義では、人種間の共生を目指した 1960 年代の公民権運動を中心に、現代まで続くアメリカの文化戦争と文学との関わり合いについてお話しします。</p> <p>(2) 小川俊輔「日本人の国内移動・国際移住：キリシタン家族を例に」(10:10-11:10) 本講義では、まず、江戸時代末期の潜伏キリシタンの国内移住について紹介し、続いて、戦前から高度経済成長期頃まで続いたカトリック信徒の国内外への移住 (国外については 特に南米ボリビアへの移住) について取り上げ、彼らの移住の目的や移住先での苦労についてお話しします。そして、人はなぜ移住するのか、移住者を受け入れる側が留意すべきことは何か、などについて考えてみたいと思います。</p> <p>(3) 中石ゆうこ「外国語としての日本語とコミュニケーション」(11:20-12:20) 私たちが英語や中国語などを外国語として学ぶように、日本語を外国語として学んでいる学習者が国内外に約 400 万人います。私たちにとっては生まれたときから当たり前のように使ってきた日本語。その日本語をどのように使えば、外国人に伝わりやすいのでしょうか。この講義では、日本語を外国人の視点で捉え直したうえで、日本語での外国人とのコミュニケーションの仕方を考えてみましょう。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 不要					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日：6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など なし					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。